

2026年6月16日

各位

会社名 SAAF ホールディングス株式会社
代表者 代表取締役 社長執行役員 左奈田 直幸
(コード: 1447、東証グロース)
問合せ先 上席執行役員経営管理本部長 宗宮 伸英
(電話番号: 03 - 6770 - 9970)

資金使途変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2022年8月15日付適時開示「第三者割当による新株式の発行及び新株予約権の発行に関するお知らせ」(以下「本第三者割当増資」といいます。)および2023年8月23日付適時開示「資金使途変更に関するお知らせ」および2024年12月17日付適時開示「資金使途変更に関するお知らせ」で公表いたしました調達資金の使途(以下「資金使途」といいます。)について一部変更することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本第三者割当増資

(1) 変更の理由

当社は、2022年8月15日付適時開示「第三者割当による新株式の発行及び新株予約権の発行に関するお知らせ」2. 募集の目的及び理由 (1) 本資金調達の目的及び理由に記載のとおり、コア事業への投資および財務基盤の安定を目的に本第三者割当増資を実行いたしました。

そのような中、株式会社アースプライムにおける技術センターと資材センターの統合に係る本社移転費用等への充当を予定しておりました。しかしながら、当該計画については、株式会社アースプライムの収益基盤のさらなる強化を優先するとともに、当社グループ全体の拠点戦略および事業戦略との整合性を踏まえた検討を継続していることから、当初予定していた2026年3月までの実施には至りませんでした。

現在も当該計画の必要性に変更はないものの、投資効果を最大化する観点から実施時期を見直すことが適切であると判断し、支出予定時期を変更することといたしました。

(2) 変更の内容

変更箇所は下線を付しており、変更後の金額における下段の括弧書きの数値は2026年5月末時点における充当済み金額となります。

【変更前の内容】

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
グループ各社におけるアクティブな既存顧客基盤 (18,000 社超) に対するクロスセルをより効率的に実施し、事業を拡大させるための統合顧客データベース構築及び Web サービス拡充費用 (当社)	9 (9)	2022年9月～ 2025年3月
新規事業 (破碎工事) の事業化調査及びそれに伴う設備費用 (株式会社サムシング)	35 (35)	2022年9月～ 2025年3月

販売用不動産の取得費用等（株式会社三愛ホーム）	200 (200)	2022年9月～ 2024年3月
オペレーション効率向上及びボーリング設備増設・移転によるエリア開拓を含む事業拡大を目的とした、技術センター（埼玉県所沢市北岩岡）と資材センター（埼玉県所沢市中富）との統合に係る本社移転費用等（株式会社アースプライム）	252	2022年9月～ <u>2026年3月</u>
当社グループの既存事業との相乗効果を期待できる建設関連のM&A費用（当社）	380	2022年9月～ 2026年3月
事業規模拡大に向けた人材採用費用及び、建築・土木IoT、環境・防災IoT・ヘルスケアIoT等の新商品の開発及び自社IoTサービスの海外（ASEAN市場）への拡販費用（NXTech株式会社）	77	2023年4月～ 2026年3月
資金使途の合計	953	

【変更後の内容】

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
グループ各社におけるアクティブな既存顧客基盤（18,000社超）に対するクロスセルをより効率的に実施し、事業を拡大させるための統合顧客データベース構築及びWebサービス拡充費用（当社）	9 (9)	2022年9月～ 2025年3月
新規事業（破砕工事）の事業化調査及びそれに伴う設備費用（株式会社サムシング）	35 (35)	2022年9月～ 2025年3月
販売用不動産の取得費用等（株式会社三愛ホーム）	200 (200)	2022年9月～ 2024年3月
オペレーション効率向上及びボーリング設備増設・移転によるエリア開拓を含む事業拡大を目的とした、技術センター（埼玉県所沢市北岩岡）と資材センター（埼玉県所沢市中富）との統合に係る本社移転費用等（株式会社アースプライム）	252	2022年9月～ <u>2028年3月</u>
当社グループの既存事業との相乗効果を期待できる建設関連のM&A費用（当社）	380 (380)	2022年9月～ 2026年3月
事業規模拡大に向けた人材採用費用及び、建築・土木IoT、環境・防災IoT・ヘルスケアIoT等の新商品の開発及び自社IoTサービスの海外（ASEAN市場）への拡販費用（NXTech株式会社）	77 (77)	2023年4月～ 2026年3月
資金使途の合計	953	

2. 今後の見通し

本件による当社連結業績に与える影響は軽微であります。今後、業績等に影響を与える事象が発生すると判断した場合には、速やかに開示いたします。

以上